

糸満市立学校施設等の耐震改修状況調査の公表について(令和1年度分)

※平成18年4月1日現在(小・中学校)

設置者名	全棟数	昭和57年 以降の建物	昭和56年 以前の建物	昭和56年以前の 全棟数に占める割合	耐震診断 実施済棟数
糸満市	71	44	27	38.0%	27

○糸満市立幼・小・中学校施設等耐震診断状況及び改修状況

・鉄筋コンクリート造【校舎】

※黄色表示については、改修済みの棟である(令和2年4月1日現在)。

学校名	棟番号	枝番	階数	延べ 面積	建築年月	実施設計 設計基準強度	優先度ランク						改修 状況	
							基本分類	コンクリート 強度	老朽化	プラン	耐震壁の 有無	想定震度		ランク
兼城小学校	7		2	712	昭和48年3月	0.71	IV	C	B	B	B	B	④-1	済
	12		2	692	昭和51年3月	1.16	IV	B	C	B	B	B	④-1	済
	13		4	2,061	昭和55年3月	1.26	II	A	B	B	B	B	③-1	済
糸満南小学校	3	2	2	567	昭和53年3月	1.51	IV	A	B	B	B	B	⑤-1	済
	7	1	2	419	昭和49年3月	1.15	IV	B	C	B	B	B	④-1	済
	15		3	2,000	昭和56年3月	1.35	III	A	A	B	B	B	④-2	済
	14		1	276	昭和53年3月	1.75	V	A	B	B	B	B	⑤-3	済
	19		3	999	昭和57年3月	1.35	III	A	A	B	B	B	④-2	済
高嶺小学校	11		3	602	昭和49年3月	1.19	III	B	C	B	B	B	③-1	
真壁小学校	9	1	2	650	昭和49年3月	0.75	IV	C	B	B	B	B	④-1	済
	11		2	980	昭和55年3月	1.28	IV	A	C	B	B	B	④-2	済

米須小学校	10		3	1,068	昭和56年3月	1.41	Ⅲ	A	C	B	B	B	③-2	
	14		2	28	昭和56年3月	1.46	Ⅳ	A	A	B	B	B	⑤-2	
	9		1	399	昭和52年3月	1.79	Ⅴ	A	C	B	B	B	⑤-2	済
糸満中学校	10		4	1,001	昭和52年3月	0.7	Ⅱ	C	B	B	A	B	②-2	済
	14	1	4	1,847	昭和54年3月	0.71	Ⅱ	C	B	A	A	B	③-1	済
	15		4	1,069	昭和55年3月	0.7	Ⅱ	C	B	B	B	B	②-1	済
	16	2	4	1,696	昭和56年3月	0.72	Ⅱ	C	B	A	A	B	③-1	済
三和中学校	12		3	1,666	昭和54年3月	1.05	Ⅲ	B	C	B	B	B	③-1	済

・鉄筋コンクリート造【屋内運動場】

※黄色表示については、改修済みの棟である(令和2年4月1日現在)。

学校名	棟番号	枝番	階数	面積	建築年月	実施設計 設計強度	優先度ランク							改修 状況
							基本分類	コンクリート 強度	老朽化	プラン	耐震壁の 有無	想定震度	ランク	
兼城小学校	8		2	890	昭和50年3月	0.68	Ⅳ	C	B	C	A	B	④-1	済
糸満南小学校	13		2	956	昭和50年3月	1.17	Ⅳ	B	C	B	B	B	⑤-1	済
真壁小学校	10		2	859	昭和51年3月	0.71	Ⅳ	C	B	B	B	B	④-1	済
喜屋武小学校	9		2	713	昭和50年3月	0.7	Ⅳ	C	B	C	A	B	④-1	済
米須小学校	8		1	516	昭和48年3月	0.66	Ⅴ	C	B	C	A	B	⑤-1	済
糸満中学校	9		2	1,157	昭和48年3月	0.75	Ⅳ	C	B	C	A	B	④-1	済
高嶺中学校	11		1	830	昭和53年3月	0.75	Ⅴ	C	B	B	A	B	⑤-2	済
三和中学校	11		2	1,040	昭和49年3月	0.76	Ⅳ	C	B	C	A	B	④-1	済

※平成18年4月1日現在(幼稚園)

設置者名	全棟数	昭和57年以降の建物	昭和56年以前の建物	昭和56年以前の全棟数に占める割合	耐震診断実施済棟数
糸満市	13	4	8	61.5%	8

・鉄筋コンクリート造【園舎】

※黄色表示については、改修済みの棟である(令和2年4月1日現在)。

学校名	棟番号	枝番	階数	面積	建築年月	実施設計 設計基準強度	優先度ランク							改修 状況
							基本分類	コンクリート 強度	老朽化	プラン	耐震壁の 有無	想定震度	ランク	
兼城幼稚園	1		2	690	昭和55年3月	1.39	IV	A	C	B	B	B	④-2	済
糸満幼稚園	1		2	920	昭和52年3月	1.49	IV	A	C	B	B	B	④-2	
糸満南幼稚園	1		1	613	昭和49年3月	1.00	V	C	C	B	B	B	④-2	済
	2		1	300	昭和54年3月	1.41	V	A	B	B	B	B	⑤-3	済
高嶺幼稚園	1		1	260	昭和50年3月	0.96	V	C	C	B	B	B	④-2	
真壁幼稚園	1		1	471	昭和50年3月	1.25	V	A	C	B	B	B	⑤-2	済
喜屋武幼稚園	1		1	286	昭和51年3月	1.43	V	A	C	B	B	B	⑤-2	済
米須幼稚園	1		1	286	昭和50年3月	1.11	V	B	C	B	B	B	⑤-1	済

※幼稚園については、幼保連携型認定こども園化に伴い、残存する幼稚園については、下記のとおりとなる。

- ①糸満幼稚園(閉園)
- ②高嶺幼稚園(閉園)
- ③米須幼稚園(閉園)

○調査結果のまとめ及び今後の取り組み

耐震化優先度調査のランク付けは、耐震診断及び耐力度調査の優先度調査の優先度を順位付けるものであり、そのまま事業の緊急性を示すものではない。しかし、コンクリート強度試験値が低いものは緊急度ランクが高くなるように、耐震化優先度調査結果において、コンクリート強度が低いものは建物構造的に危険である。

現在、昭和56年以前に建築された施設の老朽化が著しく進んでいる。また、少子化等で児童生徒数が減少した小規模校をどのようにしていくかが、今後の課題となっている。

今後、老朽化が著しい学校においては耐力度調査を行い、危険建物と認定された場合には、建築基準法・消防法その他現行法令への適合に十分留意し、学校施設が抱える今日的課題(防犯対策・バリアフリー化・環境との共生等)に対応した機能改善を同時に実施し、施設の質的向上も併せて改築を行っていく考えである。

○現在の小・中学校及び幼稚園施設の改修状況について

※令和2年4月1日現在(小・中学校)

※記載数値には校舎以外の屋内運動場及び倉庫・屋外便所等も含む。

設置者名	全棟数 (A)	昭和56年 以前の建物 (B)	改修済棟数 (C)	全棟数に占める昭和56年 以前の建物の割合 (B-C)/A
糸満市	97	10	0	10.3%

※令和2年4月1日現在(幼稚園)

※幼稚園については幼保連携型認定こども園化へ移行しており、残存幼稚園建物は全て閉園済。

設置者名	全棟数 (A)	昭和56年 以前の建物 (B)	改修済棟数 (C)	全棟数に占める昭和56年 以前の建物の割合 (B-C)/A
糸満市	4	3	0	75.0%